



ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会「第九」のふるさとである鳴門市では、6月1日を「第九の日」と定め、毎年演奏会を開催しています。2018年(平成30年)には、「第九」アジア初演100周年を迎え、「第九」の素晴らしさと平和への願いを鳴門から世界へ発信しました。



詳しくはこちら▶



なると

「第九」アジア初演の地

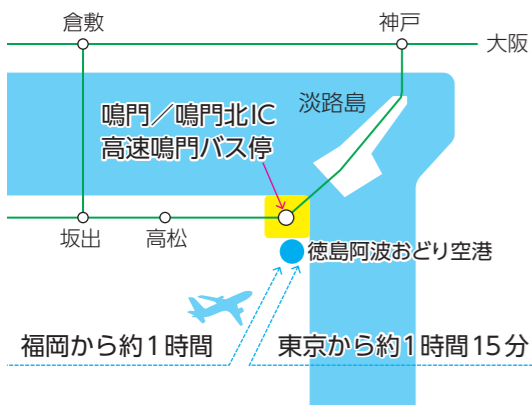
第一次世界大戦当時、鳴門市の板東俘虜収容所ではドイツ兵約千人が暮らしていました。彼らは自らの力で、オーケストラや吹奏楽団、合唱団を作り、収容所から解放されるまでの約3年間に100回以上の音楽会を開きました。

そして1918年(大正7年)6月1日、「人類愛」を歌う、ベートーヴェン作曲の交響曲第9番(通称「第九」)がアジア・日本で初めて板東俘虜収容所内で、ドイツ兵捕虜によって全曲演奏されました。

初演の背景には、当時としては異例の捕虜に対する人道的な配慮を行った「松江豊壽所長」と、おもてなしの精神でドイツ兵を迎え入れた「地元民」の存在がありました。

戦争を乗り越え織りなされた友愛の史実は、いまなお鳴門市の誇りとして受け継がれています。

鳴門市へのアクセス



空港をご利用の場合

- 東京から 約1時間15分
羽田空港 → 徳島阿波おどり空港
- 福岡から 約1時間
福岡空港 → 徳島阿波おどり空港

自動車をご利用の場合

- 神戸淡路鳴門自動車道
- 大阪梅田から 約2時間
 - 神戸市内から 約1時間30分
- 高松自動車道
- 高松市内から 約50分

高速バスをご利用の場合(高速鳴門)

- 大阪方面
梅田阪急三番街から 約2時間 / 関西空港から 約2時間30分
- 神戸方面
新神戸から 約1時間30分
- 京都方面
京都駅から 約2時間30分
- 東京方面
渋谷駅から 約8時間15分

鳴門の観光情報はこちらで！

鳴門市観光情報センター

高速鳴門バス停留所に隣接し、鳴門市内や徳島県内の観光案内の他、四国の主要観光地の紹介なども行う四国観光の拠点施設です。



インフォメーションカウンター(8:00~20:00)
ガイドマップや各種パンフレットなど取り揃え、観光や交通のご案内をしています。

高速バスチケットセンター(8:00~17:00)
京阪神、東京、名古屋方面など、JRバス・徳島バスグループが運行する高速バス乗車券を販売しています。

有料駐車場
171台収容の立体駐車場。1時間100円、1日の最大は800円、2日目からの最大は400円。(但し、送迎などのための最初の1時間は無料)

その他、周辺案内
タクシー乗り場、レンタカー、土産物店、飲食店、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ボートレース場などがあります。また、渦潮観光に便利な徳島バス「小鳴門橋」停留所まで徒歩約3分、鳴門市地域バス(市内循環線)「高速鳴門バス停前」停留所まで徒歩約1分です。

TEL 088-686-0743(年中無休)
〒772-0011
徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩75番地の1
http://www.narutok.com/kjcenter.html



四国の玄関口にある「道の駅」

道の駅 くるくるなると

兵庫・徳島・香川方面からの高速自動車道の分岐点に隣接する道の駅です。市東部の渦潮と、西部の霊山寺やドイツ館のちょうど中間地点にあるので、鳴門の旅の拠点としてご利用ください。



鳴門金時やレンコン等の地域特産物と運営事業者のノウハウを活用して「ここにしかない」オリジナル商品を数多く販売しています。



営業 / 9:00~17:00
(時期等に応じて変動あり)
飲食店は10:00~16:00ラストオーダー
駐車場(24時間利用可能) / 普通車152台、大型16台、身障者用3台、EV急速充電器

主な施設 / 物販施設、飲食施設、ジップライン、子どもの遊び場、見晴らしデッキ、キッズルーム、レンタサイクル、情報コーナー、休憩施設、EV充電施設

TEL 088-685-9696
〒772-0042
鳴門市大津町備前島字蟹田の越338-1
https://www.kurukurunarto.com



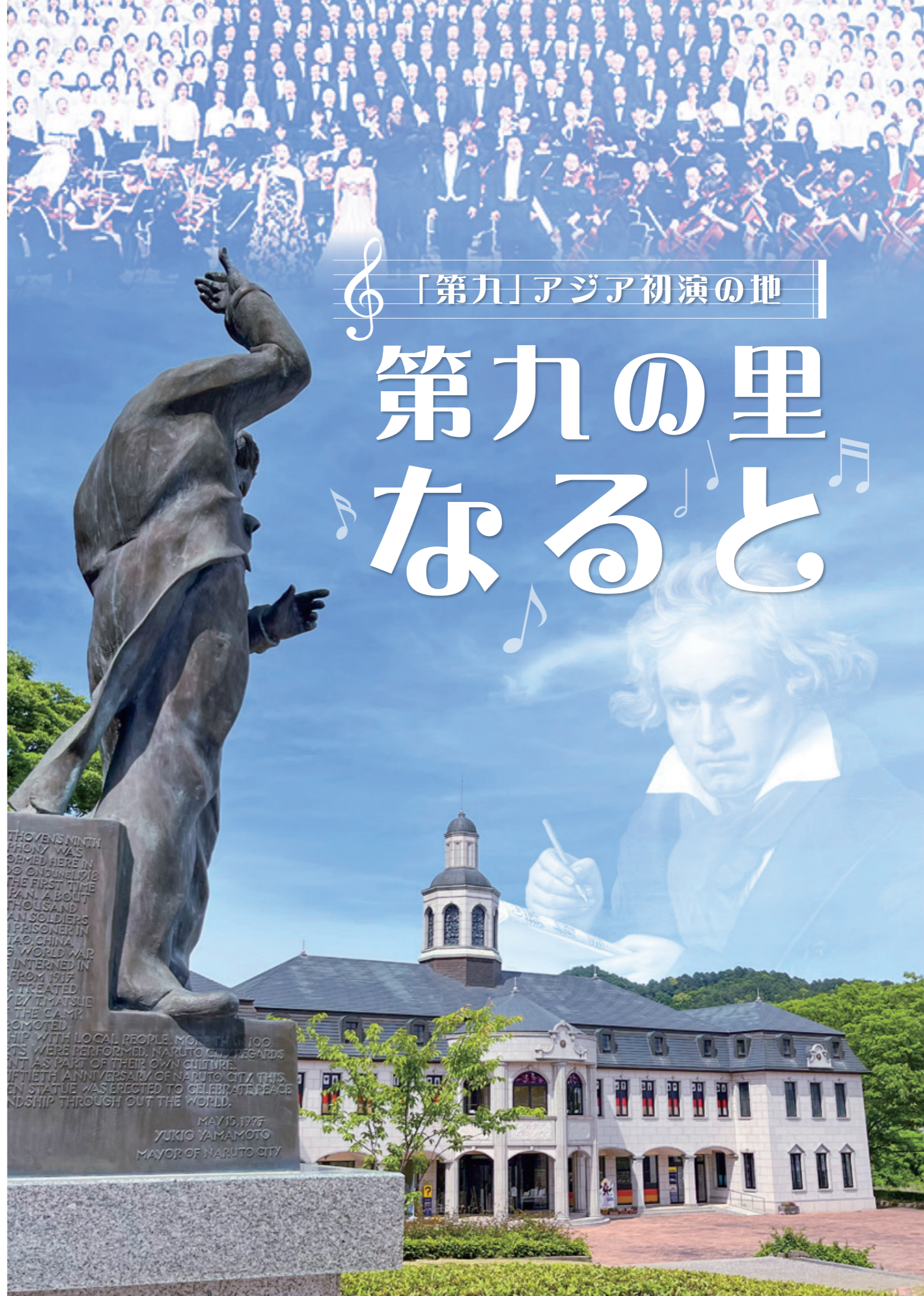
発行：鳴門市文化交流推進課 TEL 088-684-1538

〒772-8501
徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
FAX088-683-0237
E-mail : bunkakoryu@city.naruto.tokushima.jp
http://www.city.naruto.tokushima.jp/



「第九」アジア初演の地

第九の里 なると



1 ドイツ館



2 ベートーヴェン像

ドイツ館正面の丘に建てられた「第九」作曲家であるベートーヴェンの銅像です。1997年に鳴門市市制施行50周年を記念し、ドイツ人彫刻家ペーター・フツシエル氏が制作しました。



3 道の駅「第九の里」



国登録有形文化財に登録されている兵舎（バラック）の一部を移築し、建てられた館内では、当時の雰囲気味わいながら、地元の特産品を購入することができます。

4 賀川豊彦記念館



生涯にわたり「友愛・互助・平和」の精神を提唱し続け、ノーベル平和賞・文学賞候補にもなった賀川豊彦（1888年～1960年）を顕彰する施設です。ドイツ兵捕虜設計の船本家牧舎をモチーフに建設されています。

- 営業時間=9:30~16:30
- 休館日=第4月曜日(祝日の場合翌日)・12月28日~31日
- 入場料=大人200円/小・中学生100円
- 電話=088-689-5050

5 ドイツ兵の慰霊碑



国史跡内には、ドイツ兵捕虜が板東、丸亀、松山で死亡した戦友を弔うために1919年に建てた慰霊碑と、日本各地の収容所で亡くなった戦友のために1976年に建てられた合同慰霊碑の2つが並んで設置されています。

6 赤十字ゆかりの地モニュメント

松江豊壽所長の人権を尊重した収容所運営やドイツ兵捕虜によるロシアにいる同胞への救済活動などの人道的な史実を後世に伝えるため、ドイツ村公園内に日本赤十字社徳島支部が2011年に設置した記念碑です。

7 板東俘虜収容所跡



ドイツ兵捕虜が暮らした収容所のあった場所は、「板東俘虜収容所跡」として国指定史跡に指定されており、当時の兵舎のレンガ基礎や、給水跡などが保存されています。

板東俘虜収容所で生活していたドイツ兵捕虜と地元民との心温まる交流を世に伝えるために建てられた館です。元捕虜たちから寄贈された資料を中心に、当時の貴重な資料が多く展示されています。

また「第九」アジア初演の様子が分かる「第九」シアターや当時の暮らしを忠実に再現した3Dシアター、ジオラマなどもあります。

- 営業時間=9:30~16:30
- 休館日=第4月曜日(祝日の場合翌日)・12月28日~31日
- 入場料=大人400円/小・中学生100円
- 電話=088-689-0099

- 共通券**
- ドイツ館+渦の道 大人730円
 - ドイツ館+賀川豊彦記念館 大人500円/小人150円

その他の観光スポット

道の駅裏にある「ばんだうの鐘」です。日独友好と永久の平和を願って建設された鐘楼で、鐘はドイツで铸造されたものです。



「ドイツ橋(写真左)」は大麻比古神社裏にある9.6mの石積みの橋で、ドイツ兵捕虜たちが、地元住民のために建設したものとして、徳島県指定史跡に指定されています。「めがね橋(写真右)」はその近くに修復され残っています。

四国八十八ヶ所の旅のはじまり

空海(弘法大師)が修行を行った地として伝えられる八十八ヶ所霊場を巡礼する四国遍路。鳴門市には、一番札所(靈山寺)と二番札所(極楽寺)があり、お遍路の出発地となっています。



伝統工芸・大谷焼

鳴門の大谷焼は、江戸時代後期から続く歴史・伝統を受け継ぎ、2003年には国の伝統的工芸品の指定を受けるほどの日本でも有数の陶器です。



大谷焼の里 周辺MAP



第九の里を地元のボランティアガイドと一緒に歩き、ひと味違ったスポットを散策してみませんか。詳しくは裏面の鳴門市うずしお観光協会までお問い合わせください。
※要予約(予約は3日前の17時まで)
●なると観光ボランティアガイド会事務局(鳴門市うずしお観光協会)